

令和5年度 第1回 横須賀市文化財専門審議会

議事録(抄録)

日時 令和5年(2023年)6月30日(金)9時30分から11時まで

場所 横須賀市役所301会議室

参加者 文化財専門審議会委員 <敬称略>

岩橋春樹	: 絵画	元総持寺宝物殿館長
勝山輝男	: 植物	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員
釘持輝久	: 考古・郷土史	赤星直忠博士文化財資料館館長
正垣孝晴	: 地盤工学・土木史	元防衛大学校教授
瀬谷貴之	: 彫刻	神奈川県立金沢文庫主任学芸員
平田大二	: 鉱物・地質	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員
水沼淑子	: 建造物・近代化遺産	関東学院大学名誉教授
矢島國雄	: 考古	明治大学名誉教授
安室知	: 民俗	神奈川大学大学院歴史民俗資料学科研究科 日本常民文化研究所教授
(欠席) 永井晋	: 古文書	関東学院大学国際文化学部客員教授

事務局 古谷久乃 教育総務部長

柿原美奈、川本真由美、青木微笑(横須賀市教育委員会教育総務部生涯学習課)

内容

1 開会

2 教育委員会あいさつ

教育委員会挨拶、委員紹介、事務局紹介

3 委員長あいさつ

平田委員長挨拶

4 議事 (議事進行:委員長)

審議1 令和5年度指定候補文化財等の選択と調査について

(1) 令和5年度(2023年度)指定候補文化財等一覧について

(2) 指定のための詳細調査対象文化財等について

委員長 指定のための詳細調査を実施すべき文化財等についてご発言をお願いします。

委員 絵画「板著色 石工祈不動明王図額」について。

長安寺（久里浜）所有の「石工祈不動明王図額」を指定したい。令和5年6月16日にお寺にて再調査を行った。その際発見もあった。

委員 国登録有形文化財（建造物）「横須賀市上下水道局逸見浄水場 緩速ろ過池調整室（Ⅰ～Ⅳ）、配水池入口（東・西）、配水池西入口、ベンチュリーメーター室」について事務局に質問。

稼働停止になっているが、現状を知りたい。国のほうでも近代化遺産として産業遺産等を指定する方向性がみられる。重要文化財に指定することも多いと思う。使用している間は登録にしているが、使用停止後は指定に上げていくことはよくある。逸見浄水場が日本遺産の中でも位置付けられる貴重なものであることを市としてもより証していくためには、まずは指定にしていくのも方向性としてあるのではないかと思う。

事務局 稼働停止して何年も経過した。現役で使っていたので登録としたが、協議を進めて指定にもっていくことはあり得ることだと思われる。現状全くの無人ではなく、一部施設として使っている部分があるかとも思われるので、上下水道局に確認のうえ改めて報告させていただきたい。

委員 一つの群として施設が残っているのは貴重な。国登録として既に調査がいくつも実施されているので、市の指定に進める可能性があるのではと思い質問した。上下水道局とうまく調整がつけば指定候補にできると良いと思う。

委員 史跡「高坂貝塚」について。

昨年度ボーリング調査等を行い、かなり詳細に状況が分かってきたが、まだきちんとした報告書が出せるまではまとまっていない。旧地形を確認して、どの程度壊されていてどの程度残っているか検証が必要。

地形的には、学校建設の際、丘陵を平らに切っているため、その部分の遺跡はなくなっている。切った土をそのまま押し出して埋め立てて平場を造っている。そのために埋め立てた下は遺跡が残っている。ただ崖の先端は道路を造ったときに切られているので、これによって斜面の一番下のほうは壊されている。縄文後期の貝塚として報告されているが、早期の貝層も確認できたので、時代的には縄文早期と縄文後期の貝塚になる。斜面の保存状態は比較的良いことが確認できた。

最終的にもう少し細かな地形等の調査をしたうえで改めて報告させていただきたい。継続して指定候補として取り上げておいていただきたい。

委員長 事務局から補足はあるか。

事務局 昨年度、委員にご指導いただきながら調査と図面検討を一緒にさせていただいた。引き続き図面での検討を一緒にさせていただきたい。

委員 市指定「蓼原東遺跡出土の漁撈用具及び関連資料」について。
資料の中に中世の鉄製漁撈用具が多くある。鉄製品は劣化が非常に進んでいる。できれば、できるだけ早い時期に保存処理をかけていただきたい。すでに一部は調査当初に展示の都合で保存処理しているが、残りはしていないので、鉄製品の保存処理をぜひお願いしたい。

事務局 博物館（所有者）と相談して見積りをとるなど対応を検討していきたい。

委員 市指定「仮面里神楽 とっぴきびーおどり」について。
開催されなくなってかなりの年月が経過し、指定解除を検討せざるを得ない状況に來つつあると事務局から相談を受けた。他の自治体でも例があるが、仮面里神楽なので物が結構あるため、無形民俗文化財としての指定を解除して、有形民俗文化財に切り替えることも考えられる。仮面や楽器、もしかしたら関連文書があるかもしれない。それについてはきちんとした調査をしなければならない。また、指定解除の検討は慎重にする必要があるが、今後また復活が期せれば無形として指定を残しても良いと思われる。今年度、一度実態調査が必要と思われる。

事務局 後ほど報告の中で状況などを説明させていただく。

委員 有形民俗文化財「東浦賀の猩々坊」について。
今年度、詳細調査を計画していたが、今年は浦賀の八雲神社の例祭が開催されないので、実見できなかった。普段は解体されて積み上げられている状態である、きちんと組み立てて猩々坊が出来上がる過程なども記録して指定できるかどうかの判断をしたいと思う。来年度以降に延期する。

委員長 他にご発言のある方はいるか。欠席の委員からは何か聞いているか。

事務局 特に聞いていない。

委員長 今年度の詳細調査対象文化財について事務局で確認を。

事務局 今年度の指定候補としての詳細調査対象文化財は「板著色 石工祈不動明王図額」の一件。
「横須賀市上下水道局逸見浄水場」は市指定に進めるかどうか上下水道局と協議する。
「高坂貝塚」は継続して調査及び検討を行う。
「東浦賀の猩々坊」は来年度以降に調査を持越しとする。
「仮面里神楽 とっぴきびーおどり」は、今年度実態調査を行い、来年度以降検討する。

委員 「板著色 石工祈不動明王図額」は2週間前に再調査を行った。市史の調査時は分からなかったが、消えかけてはいるものの石工の名前や住所の銘（墨書）があることが判明

した。この墨書により色々な疑問が解消した。絵には、つくりかけの不動明王の石像が描かれているが、この石像は実際に長安寺に安置されている。石像は明治23年につくられたという説があったが、関係者は既に亡くなっているため確認が取れず不明な点がいくつかあった。消えかけている銘（墨書）により、石工の名前は木村藤兵衛。絵の左側から火が迫っているが、明治5年に銀座で大火あったときのもので、辺り一帯が全て焼けたが、石工の工房だけが焼け残ったため、火伏不動明王と言われている。石像の明治23年制作説は間違いで、火災があった明治5年頃に制作され、それに準じて額がつくられたのも明治5年なり、6年頃ではなかろうか。

墨書は赤外線撮影を検討できないか。スマホのカメラで撮影してみたら肉眼よりは読めたので、記録という点からも一度赤外線撮影してみてもどうか。随分違うと思う。時間が経つと墨書がどんどん消えていく。

事務局 承知した。

委員 なぜ明治23年説があったのか。根拠はあるか。

委員 根拠は分からない。石像の制作年の問題だが、石像がつくられて額がつくられたため額も関連してくる。額の作者は河鍋暁斎（落款がある）だが、明治23年には既に亡くなっている。

委員 石工が祈っている場所はどこか。

委員 東京京橋南紺屋町。額に書かれている。

委員 その額が久里浜の長安寺にあるのは何故か。

委員 浦賀と久里浜を結ぶ久比里坂を開削した峯島という久里浜出身の人物がいる。江戸に出て手広く仕事をし、裕福になって、地元の久比里坂の開削を行った。その際、安全祈願のため石像をつくり安置したようである。つくらせていたところ、たまたま大火がおきたが無事であり、不動明王は有り難いものだと。

委員長 今年度は「板著色 石工祈不動明王図額」を指定候補として詳細調査を進めていく。

5 報告

- (1) 国登録有形文化財（建造物）「旧澤田家別荘」の解体について
- (2) 市指定有形文化財（絵画）「絹本著色 天神像」の修復について
- (3) 「深谷やぐら群・円通寺跡（大矢部弾跡地内）」について
- (4) 市指定民俗文化財（無形）「仮面里神楽 とっぴきびーおどり」について
- (5) 令和5年度文化財関係事業について

以上、事務局から報告を行った。

6 閉会